橋梁用ゴム支承
オプション

HABアンカー

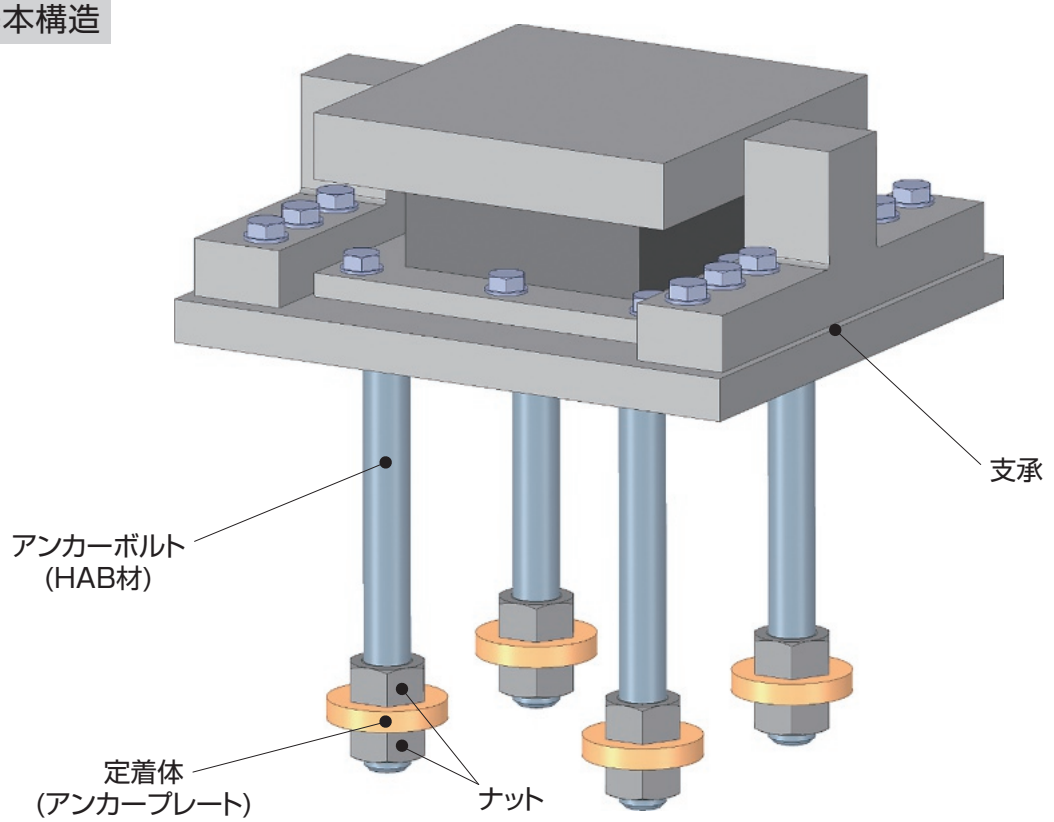
HAB材を用いたアンカープレート構造

はじめに

支承の設計において上向き力が大きい場合、従来の丸鋼や異形棒鋼などのアンカーボルトではコンクリートとの付着力を確保するためアンカー径を太く、埋込長を長くする必要があり大型化しています。

弊社は、従来の問題を解決する方法として高強度材料を用いたアンカープレート構造を開発し、コンパクト化を実現します。

基本構造



特　長

1．アンカーボルトにHAB材を用い、先端に定着体を設置したアンカープレート構造です。
2．HAB材とは、SD490※をベースに靭性を高めた丸鋼です。
3．高強度材料であるHAB材をアンカーボルトとすることで、アンカー径を低減できます。
4．アンカープレート方式を採用することで、埋込長を低減できます。
5．アンカーボルト降伏強度 ≦ 定着体支圧耐力とすることで、アンカーボルトの耐力を最大限活用できます。

※道路橋示方書、道路橋支承便覧に使用材料として掲載されています。

HABアンカー

型格表

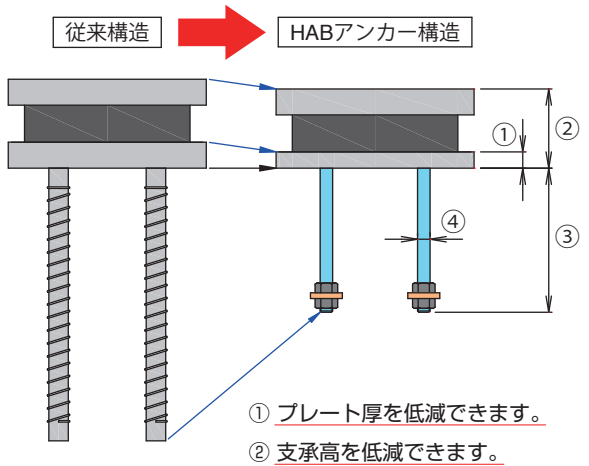
(mm)

呼び	アンカー径	定着体	
		厚さ	外径
M24	24	12	61
M30	30	14	76
M36	36	16	92
M42	42	19	108
M48	48	22	123
M56	56	28	145
M64	64	32	166

HAB 材と各種アンカー材質との比較

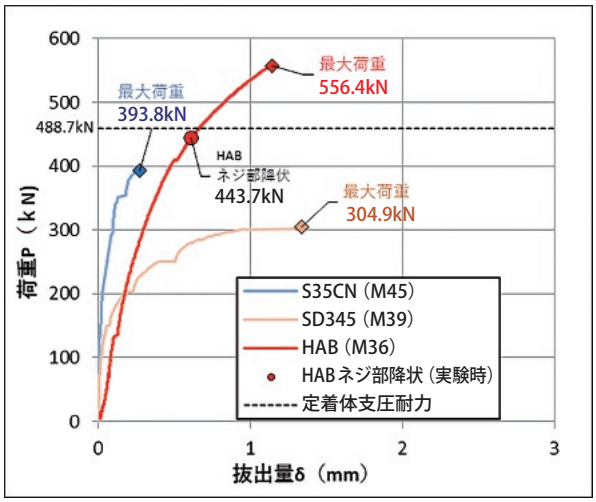
材質	降伏強度又は耐力 N/mm²	引張強度 N/mm²
HAB	490 ～ 625	700 以上
SD490	490 ～ 625	620 以上
SD345	345 ～ 440	490 以上
S35CN	305 以上	510 以上
SS400	235 以上	400 ～ 510

従来構造との比較



① プレート厚を低減できます。
② 支承高を低減できます。
③ アンカー埋込長を低減できます。
④ アンカー径を低減できます。

引抜試験比較



S35CN,SD345 と比べ HAB アンカーは径が小さくても耐力は大きく、定着体支圧耐力がアンカーボルト降伏強度を確実に上回る結果となりました。

防錆処理

溶融亜鉛めっき、溶融亜鉛アルミニウム合金めっき、MEL めっき等の各種防錆処理が可能です。

適用範囲

本構造の適用範囲はコンクリート設計基準強度 24N/mm² 以上となります。

東京ファブリック工業

支店
札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島

お問い合わせ先

本店 〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL：https://www.tokyo-fabric.co.jp/

本カタログの仕様は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。 掲載の記事・写真・イラスト等を無断で複写したり他に転載する事をお断りします。

2025.8.1